

令和4年12月22日

第6学年保護者の皆様

廿日市市立阿品台東小学校長 柳川 大蔵

令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果について

師走の候、皆様にはご健勝のこととお慶び申し上げます。また、平素より本校教育に対し、ご理解・ご協力をいただきありがとうございます。

さて、4月に全国の6年生を対象に行われた「全国学力・学習状況調査」の結果がまとまりましたのでお知らせいたします。今回の結果から把握した各児童の学習や生活における実態をもとに、今後の指導内容や指導方法の改善・充実を図ってまいります。なお、これらの内容については、学校ホームページにも掲載します。

1 教科に関する調査

国語

本校平均正答率 66% 広島県平均正答率 67% 全国平均正答率 65.6%

【重点課題】

- 登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基にとらえることに課題がある。
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことに課題がある。

【重点課題に対応した指導内容及び方法】

- 低学年の段階から、自分の意見を出す機会、聞く機会を増やす。
- 言語事項に関する反復練習だけでなく、作文の中で適切な漢字を使うことができるように指導する。

算数

本校平均正答率 64% 広島県平均正答率 64% 全国平均正答率 63.2%

【重点課題】

- 百分率で表された割合を分数で表すことに課題がある。
- 分類整理されたデータを基に、目的に応じてデータの特徴を捉え、考察することに課題がある。
- 示された場面のように数量が変わっても割合は変わらないことへの理解に課題がある。

【重点課題に対応した指導内容及び方法】

- 課題がイメージできるように具体物を用いたり、絵や図に表したりして課題に取り組む機会を設ける。
- 学習時間だけでなく、生活とのつながりを感じさせる活動を意識的に行っていく。
- 自主学習等を活用した長いスパンでの追及活動や「なぜ？」を大切にした課題作り等を大切に活動を行う。

理科

本校平均正答率 66%

広島県平均正答率 66%

全国平均正答率 63.3%

【重点課題】

- 観察で収集した情報と追加された情報を基に、問題に対するまとめを検討して、自分の考えをもつことに課題がある。
- 実験で得た結果を問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述することに課題がある。

【重点課題に対応した指導内容及び方法】

- 実験の考察をする際、適切な資料を活用できるよう、資料を関連付けて説明する機会を設けていく。
- 課題を解決していく中で、次への疑問や新たな課題を自ら見出すような学習を取り入れる。

2 生活習慣や学習指導等に関する質問紙調査（主なもののうち肯定的解答）

本校結果と全国結果を比較した場合、次の事項は、特に本校児童のプラス面（○）、マイナス面（△）といえます。

- | | |
|--------------------------------|---------------------|
| ○将来の夢や目標を持っていますか。 | (本校 85.2% 全国 79.8%) |
| ○人の役に立つ人間になりたいと思いますか。 | (本校 96.3% 全国 95.1%) |
| ○いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。 | (本校 98.2% 全国 96.8%) |
| △朝食を食べていますか。 | (本校 88.1% 全国 94.4%) |
| △平日、1日あたりのゲーム等の時間「3、4時間以上」 | (本校 35.2% 全国 30.7%) |
| △自分には、よいところがありますか。 | (本校 70.3% 全国 89.3%) |
| △難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか。 | (本校 61.1% 全国 72.5%) |

【今後の取組】

- 「宿題やりきり週間」の取組と関連付けて、朝食の必要性やメディアとの付き合い方について指導する。
- 自己肯定感を高めていけるように、自分で決めて、やってみる経験を積ませるとともに、挑戦したことをお互いが認められるようにしていく。
- 安心して生活できる環境を整えていけるよう、人間関係づくりやソーシャルスキル等を行っていくとともに困った時の解決方法について児童と一緒に考えたり、面談を行ったりして実態の把握に努める。

学校では、これらの結果を受け、よりよい学校教育に向け、全教職員で共通理解を計りながら取組を進めてまいります。改善に向け、学校だけでなく、家庭・地域がそれぞれの適切な役割を果たしつつ、連携・協働した取組が行われることが重要です。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。